



## 第 44 回 例会 報告 (6月2日)

### 【 出 席 報 告 】

・ 会員数	53名	・ 出席数	35名	・ 欠席数	18名
・ 当日出席率	76.74%	・ 前々回修正出席率	100%		

< 欠席会員 > 藤田、原、檜垣(巧)、近藤、桑森、光藤、村上(修)、西本、竹田、田中

[ 免除会員 ] 青野、原田、松本、宮本、村上、野間、白石、八木

<5/19 欠席補填>(5/16 今治北)青野(賢)、檜垣(俊)、金森、冠、吉良、近藤、飯、藤堂、渡邊 (5/17 今治南)藤田、檜垣(圭)、檜垣(巧)、桑森、光藤、尾越、竹田、田中

入会式・愛媛信用金庫今治支店長 檜垣直孝氏の入会式が行われました。

幹事報告・6月のロータリーレートは1ドル82円です。



### 大分類別卓話 大分類:金融 小分類:普通銀行



藤堂宗昭氏:皆様の前で話すのは非常に緊張いたします。今日は東日本大震災とそれに関わる金融ということについてお話ししたいと思います。東日本大震災が日本のマクロ経済に与える影響は大きく、個人消費・設備投資・外需が大きく押し下げられる見込みです。ただし、今のところ 2011 年度はプラス成長を維持する見通しが多いことを各調査機関が発表しています。しかし、外資系の調査機関は厳しい見通しをしています。帝国データバンクのアンケート調査では、四国は全国と比べて震災の影響がやや小さいそうです。では愛媛経済に与える影響はというと、地域間産業関連表(2005 年)から愛媛における震災の影響(波及効果)をシナリオ (直接被害)、シナリオ (夏場の電力不足の影響)、シナリオ (公共事業の増加)

の前提条件で測定しました。前提条件による違いは大きいものの、愛媛における影響額は限定的なものとなります。シナリオ では 127 億円のマイナスですが、シナリオ では 365 億円のマイナスとなります。直接被害より、電力不足の影響の方が大きいと言えます。また、シナリオ では、特に紙・パルプ等でマイナスの影響が大きくなるものの、影響額の県内総生産に占める割合は少ないようです。シナリオ におきましては、181 億円のプラス波及効果があるものの、東北地方とは地理的に離れているため、愛媛における影響は限定的なものとなりました。帝国データバンクの情報によりますと、震災後 5 月末に倒産した会社は 131 社、4 月末で 66 社だった倒産数が倍になりました。主な原因は直接的な被害ではなく、9 割近くが間接的被害だということです。主な原因は生産減・工期の延長による資金繰りの悪化だということです。この震災が起こったことで、当行でも業務継続計画が今後の課題となりました。テロや大規模災害などが起こった時に、どのように業務を継続していくかが問題です。システム障害なども対象になりますが、必要最低限の業務が継続可能になっているか、優先的に継続・復旧することが出来るかなどが課題です。今治地区では支店がいくつもあります、最優先に業務を行うのは今治支店となっております。四国では今のところ、震災の影響で資金が必要になったという相談はございませんが、今後必要となった場合は、お取引のある金融機関にご相談下さい。

< ゲスト > 愛媛銀行常務取締役今治支店長 島田雄二郎様

< ビジター > 今治南 RC 村上明弘様 < 溶接棒製造 >

### 次回例会 (6月9日)

【 「小さな奉仕賞」表彰式 】

< 結婚記念祝 > 渡辺 易廣氏 (6/10)

[ 健寿司 ]